

クラブ計画書

2013 - 2014



第 2670 地区
宇和島ロータリークラブ

目 次

R. I. 会長メッセージ.....	
第 2670 地区ガバナーメッセージ.....	
宇和島ロータリークラブ運営方針.....	
2013-2014 年度 宇和島ロータリークラブ役員・理事.....	
2013-2014 年度 宇和島ロータリークラブ委員会構成.....	
2013-2014 年度 行事予定表.....	
クラブ概況.....	
宇和島ロータリークラブ内規.....	
委員会活動計画方針.....	
職業奉仕委員会活動計画.....	
社会奉仕委員会活動計画.....	
国際奉仕委員会活動計画.....	
新世代活動委員会活動計画.....	
ロータリー財団活動計画.....	
米山奨学委員会活動計画.....	
環境保全委員会活動計画.....	
クラブ奉仕委員会活動計画.....	
出席委員会活動計画.....	
親睦委員会活動計画.....	
ロータリー情報・雑誌・広報委員会活動計画.....	
会員増強・分類選考委員会活動計画.....	
会員選考委員会活動計画.....	
プログラム委員会活動計画.....	
スマイルニュース委員会活動計画.....	
姉妹クラブ特別委員会活動計画.....	
S. A. A. 活動計画.....	
宇和島 RC の明日を考える委員会活動計画.....	
創立 75 周年 準備委員会活動計画.....	

RI 会長メッセージ

2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を



国際ロータリー2013-2014 年度会長 ロン・バートン

私が、次期ガバナーとして参加した26年前の国際協議会の年に始まった、ロータリー史上最大のプロジェクトであるポリオプラスは、昨年には最大の難関と見られていたインドでポリオ絶滅が確認され、あと3カ国を残すのみという最終段階に入りました。ここで手を抜かずに、最後の頑張りをしましょう。ロータリーの奉仕の発展を心から願うならば、今、ここにいる私たちが抱いているのと同じ気持ちを、すべてのロータリアンに抱いてもらわなければなりません。すべてのロータリアンが重要な役割を果たすようにするとともに、その貢献を称えることはガバナーとなる皆さんの責務です。ロータリー財団の新しい補助金モデルが来る7月から全地区に導入される今が、ロータリアンにとって「最も興奮に満ちたとき」でしょう。2010年以来、約1000の試験地区が活用してきた新しい補助金モデルは、「ロータリー財団の新たな時代の幕開け」であり、人々の人生を豊かにするロータリーの可能性を実現する機会であると考えます。未来の夢計画はロータリーの素晴らしさをすべて取り入れたものであり、地域社会のニーズに応える地元プロジェクトの柔軟性を高めるとともに、さらに大きく、持続可能な国際プロジェクトを促すことによって、ロータリーを新しい次元へと昇華させるものと考えます。次期ガバナーの皆さんは、新システムへの移行において、地区ロータリー財団委員長と協力して各クラブに対し、万全の指導援助を行うようお願いいたします。協議会に先立ち、私は「模範を示して導く」ために、次期ガバナー全員がロータリー財団に寄付を行うよう求めました。その結果、全537地区のガバナー・エレクトから寄付が寄せられ、さらにRI理事会と財団管理委員会も全員が寄付したことにより総額で675,412ドルが集まりました。もし私が寄付をお願いしていなければ、これだけの寄付は集まらなかったのではないのでしょうか。これは、今日ここにいる私たち全員が心得ておくべきことだと思います。誰かに何かをしてもらいたい時、相手がそれに気づいて自発的に行動するのを待つか、お願いするか、二つの選択肢がありますが、後者のほうがずっと理にかなっているのではないのでしょうか。同じことが会員増強にも当てはまります。新会員候補者に入会をお願いすることは全ロータリアンの責任です。高校時代、国際キワニスの青少年プログラム、キー・クラブに所属していた私は、自分はいつかキワニアンになるだろうと思っていたが、しかし、実際に入会を誘ってきたのはオクラホマ州のノーマン・ロータリー・クラブだったことから、結果的にロータリーに入会することになりました。ですから、まずはお願いすることが重要なのです。さらに訴えたいのは、会員増強の活動は新会員を入会させたときに終わるのではないということです。入会した新会員がロータリーによって意欲を高め、ロータリーに積極的に参加し、ロータリーの奉仕のパワーで人々の人生を豊かにできるようになって初めて、仕事が終わったことになるのです。各地区がこれから何を達成し、どれだけ多くの人々の人生を豊かに出来るかは、皆さんのロータリーに対する熱意と献身にかかっています。そして一番豊かになるのは皆さんご自身の人生だということです。さあ、ロータリーを実践し、人々の人生を豊かにしようではありませんか！

“ 地域で、世界で、ちょっといいことをしよう”



国際ロータリー第 2670 地区

2013-2014 年度ガバナー 関 裕司

ロン・バートン R I 会長は、Engage Rotary, ChangeLives というテーマを掲げました。日本語訳では、「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」となっています。このテーマを私自身が従来から持っているロータリー観に基づいて素直に訳せば“Engage Rotary”は「ロータリーに積極的に参加しよう(関わろう)」、「Change Lives”は、「自分も含めてみんなの生活(生き方・人生)を変えよう」となります。つまりロータリーの奉仕活動に積極的に参加して、自分も含めてみんなの生活(生き方・人生)を変えよう、と解釈すべきと考えます。このロン・バートン R I 会長のテーマを受けて、当 2670地区の2013-2014年度の方針を、地域で、世界で、ちょっといいことをしよう と致しました。夫々の地域社会や、会社、組織、団体のリーダーである皆さんにも、同じロータリアン仲間として、ロータリー活動を楽しみながら、実効ある奉仕活動をひとつでも実践していただきたいと考えています。○ロータリーの基本は親睦と奉仕と寄付に尽きると言っても過言ではありません。

1. 親睦とクラブ奉仕

会員間の親睦、固い友情に結ばれた連帯感はロータリーの原点です。明るく楽しいクラブづくりが効果的な奉仕活動につながり、公共イメージを向上させ、ひいてはロータリーのバッジに誇りを持つこととなり、会員増強にもつながります。また、IM、地区大会などにも積極的に参加し、交流の輪、奉仕の輪を広げましょう。

2. 社会奉仕(地域での奉仕活動を積極的に)

ロータリーは地域に密着した活動が基本です。ロータリークラブが地域ごとに設立されていることの意味を考え、地域社会との関係をより深め、地域のニーズを積極的に掘り起こし、地区、分区、クラブ単位はもとより、他団体あるいは他地区とも積極的な連携をして奉仕活動に取り組んで下さい。

3. 国際奉仕(世界にも目を向けた奉仕活動を)

今やロータリーに国境はありません。世界には我々の援助、協力を待っている国々、団体がたくさんあります。奉仕の理想に結ばれたロータリアンが、国境を越えた友情によって国際間の理解と平和を推進する事は、ロータリーの最重点活動と言えるでしょう。我々が一寸努力をすれば、力を貸すことが出来ることもたくさんあります。インターネットでもそんな情報がたくさん得られます。ぜひ、新しい挑戦をお願いします。

【長期交換】国際理解と親善を深めるロータリーの伝統的なプログラムであり、社会の期待に応えるものとして積極的に取り組みます。

【短期交換】米国NJ との青少年交換は34年の歴史を持つ地区独特のプログラムです。皆さんのご協力をお願いします。

【世界社会奉仕】世界各地で援助を必要としている人々の生活の質を、国際奉仕を通じて高めるプログラムです。海外のクラブとも連携し「東日本の復興」や「タイの洪水被害にあった学校の再生」に向けた支援、並びに「キャンプメリーハート」への寄付その他継続をお願い致します。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| ① 平和と紛争予防／紛争解決 | ② 疾病予防と治療 | ③ 水と衛生設備 |
| ④ 母子の健康 | ⑤ 基本的教育と識字率の向上 | ⑥ 経済と地域社会の発展 |

4. 青少年奉仕（青少年の支援活動をより強力に）

次代を担う青少年を育成する事は社会の使命であり、その先導的役割をロータリーも担います。日本の将来を支え、世界平和を実現する人材を育てていくのは、我々ロータリアンの重大な責務といって過言ではありません。より一層の推進をお願いします。

【インターアクト】奉仕と国際理解に貢献する14～18歳までの青少年の国際的な団体。既存のクラブの魅力を高め、会員増強に結び付けます。

【ローターアクト】18～30歳の若年成人を対象に、奉仕を指向する市民と指導者を育成するためRCが提唱する世界的な団体です。これを推進して会員増強に結び付けます。

【ライラ】毎年3月後半に小豆島・余島で行われるロータリー青少年指導者養成プログラムの積極参加を促して下さい。又青少年少女キャンプへの協力を行います。

5. 米山記念奨学

日本に来て勉強している留学生に奨学金を支給する日本独自の奨学制度です。日本を良く知り、ロータリーの良き理解者となってもらうことが目的です。留学生を世話する世話クラブとカウンセラーが指定され、交流と国際理解と親睦の実を挙げるよう計画されています。終了後は学友として登録されます。

6. ロータリー財団（未来の夢計画）

2013-14年度から、いよいよ未来の夢計画が実行段階に入ります。未来の夢計画は、地区補助金、グローバル補助金、パッケージグラントから成りますが、我々ロータリアンの年間100ドルを超えるR財団への寄付が、3年後に地区の活動資金として返ってくるという制度により、地区補助金については、従来の2倍を超える活動資金が得られることとなります。このチャンスを利用して、各クラブの奉仕活動をさらに充実させていきましょう。地区の利用可能資金は余すことなく、奉仕活動に振り向けたいと考えていますので、ロータリー活動に積極的に参加し、地区、分区、クラブ単位はもとより、他団体あるいは他地区とも積極的な連携をして、奉仕活動に取り組んで下さい。ロータリー史上最大のプロジェクトであるポリオプラスは、昨年には大の難関と見られていたインドでポリオ絶滅が確認され、あと3カ国を残すのみという最終段階に入りました。天然痘に続きポリオ撲滅まであと一息、ここで手を抜かず、最後の一頑張りをしましょう。

7. 広報、IT

「公共イメージと認知度の向上」はRIの3つの強調事項の一つです。広報活動に対する補助金制度も新設されています。また既存のメディアである新聞、TV、ケーブルTV、ラジオ、コミュニティFM、行政が出している市報、街のミニコミ誌等大小を問わず露出する事、更にはインターネット、ブログ等も活用し、ロータリーが社会と繋がった身近なものであるとの認識を広めます。

8. 員増強と維持

RIから要請されるまでもなく、クラブに活力をもたらす、奉仕活動の成果を高めるためには、会員の増強が欠かせません。夫々の地区には、ロータリアンにふさわしい人材がいるはずで、特に、若い世代、女性などの入会を促進しましょう。（インターアクト、ローターアクト、長期交換、短期交換、新世代奉仕、米山奨学などの新世代プロジェクトの経験者たちも有望なロータリアン候補です。）また、世界的にも、国内でも、毎年多くの新入会員を迎えながら、ほぼ同数の会員が退会するという傾向が続いています。退会を防止し、会

員数を維持向上するため、各クラブのリーダーの方々（会長や古参会員等）は新しい会員に対し、良き相談相手となって頂くとともに、例会のあり方、時間、場所、会費など、柔軟な運営を考えてください。

奉仕活動（ロータリーで言うサービス）というと堅苦しく考えがちですが、私の考える奉仕とは、他人（ひと）のためになることです。他人のためになる何かをするということは、他人を満足させるだけでなく、自分の満足でもあります。では、どれ位頑張ってサービスすべきでしょうか？超我の奉仕という言葉があります。私も感銘を受け、大好きな言葉ですが、全身全霊、命をささげての奉仕という風に大げさには考えていません。自分の能力を一寸超える程度、少し背伸び、あるいは軽くジャンプすれば出来る程度のレベルのサービスから始めましょう。これまで、さまざまな奉仕活動に尽力してこられた方々はさらに高いレベルを目指して、これから何かしようという方々は先輩に習って、地域で、世界で、ちょっといいことをしようではありませんか。

本年度、2013-2014 年度国際ロータリー ロン・バートン会長のテーマは

Engage Rotary Change Lives ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

です。つまりロータリーの奉仕活動に積極的に参加して、自分もみんなの生活を変えようということです。

ロンバートン会長のメッセージに全会員が真のロータリアンになれば・・・とあります。会員全員の潜在能力を引き出し活動が活発になり、真に実践した時、人生が豊かになりテーマである「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」になるということです。そして、そうできるのは自分自身であるとあります。

ロンD.バートン会長はアメリカノーマンRCで、ノーマンというところの州かというところオクラホマ州です。彼は 2007 年に退職しましたが、退職直前はオクラホマ大学財団理事長を務めていました。そして理事長在任中に資産を 1750 万ドルから 8 億 9 千万ドルまで増やしました。

資産を増やし資産を残せるということはその人の能力が高いという証にもなるのかもしれませんが、そんなふうになるには、というのは先程の潜在能力を高めるようにと言っていることかもしれません。そして、彼はポリオ撲滅活動に長年尽力を尽くしてきました。そして今ポリオ撲滅の最終段階にきています。ポリオ終息を確実にするためにここが最後の踏ん張りどころとなっていますので撲滅を成し遂げ、それをあと 5 年で撲滅させる予定になっています。

また、次の新しい事業として、未来の夢計画が立ち上がりました。使いやすくなったと言われている新地区補助金、グローバル補助金、パッケージグラントなどの理解を深め、奉仕活動を実践していかないとはいけません。

グローバル補助金の対象となる 6 つの重点分野は

- ・戦争と紛争予防/紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生設備
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

以上の 6 つは以前からの継続事項でもあります

そして、2670 地区ガバナーの関裕司(せき ひろし)さんの方針は

「地域で、世界で、ちょっといいことをしよう」です。

ロータリー活動を煎じ詰めると、**奉仕と親睦と寄付**に尽きると考えています。

本年度から未来の夢計画がはじまりロータリアンの年間 100 ドルのロータリー財団への寄付が、3 年後に地区の活動資金として返ってくるという新しい制度になります。これを利用して各クラブでの奉仕活動をさらに充実させてほしいということです。

そして、5つの方針を掲げました。

1. 地域での奉仕活動を積極的に
2. 世界にも目を向けた奉仕活動を
3. 新世代の支援活動をより強力に
4. 会員増強と維持
5. 地区活動資金の合理化

宇和島ロータリークラブとしては一番の最重要点はみなさんもおわかりのように

1. 会員増強です

会員数の純増目標 5名です

現在19名2年前の今と同じですこれを24名あわよくば25名にできたらと思っています。

石丸会員増強委員長をはじめみなさまどうかご協力お願い致します。

2. 出席率 目標としては全員で例会をする100%出席の日を目指し増やすことです。

昨年度から夜間例会が毎月行われるようになり出席率が上がったように思われます。

後は全員そろって例会ができる日が増えればなと思っています。もちろんメイクアップも積極的にして頂き、交流を深めることができたと思っています。例会出席した時の話などを聞いて忘れてもかまいません、繰り返し出席することにより少しずつ浸透して、ちょっとずつ覚えてきますしそれにより奉仕の心を身につけるのが例会出席の重要性なのです。

3. 会員同士の親睦

楽しくなければロータリーじゃないという言葉がずっと聞いていて、じゃあ、ロータリーを楽しくするにはどうしたらいいかという、やはりみんなが仲よくなければ楽しくありません、夜間例会も習慣化してきました、お酒というコミュニケーションの潤滑油も活用しながらも、お酒だけでなくもっと親睦を深め会員同士の心の距離が近くなっていくようになればと思っています。

4. よい子たちとのみかん狩りの実施

宇和島ロータリークラブの特徴的な活動になっているこの行事、今年も萩森SAAにご協力いただき、昨年の場所でさせていただけたらと思います。会員の皆様も場所が変わって3回目になりだいぶ慣れてきたと思いますし、もっとよりよく楽しくできたらと思います。

5. 75周年の記念事業に向けての準備

来年度宇和島ロータリークラブは75周年を迎えます。それにむけて萩森準備委員長を先頭に準備を進めていこうとおもいます。そして来年の野本会長、杉脇幹事、75周年実行委員長の渡辺さんにうまくバトンタッチをできたらと思います。

そしてロータリークラブの活動は委員会活動にかかっています。

各委員会が活発であることがクラブが活発になることの証だと思っています。そして、当クラブは現在会員数が非常に少ない状態ではありますが会員一人一人みなさん素晴らしい人の集まりです少数精鋭で素晴らしい活躍をしてくれることと信じていますし、少数だからこそクラブ全体ですべての委員会活動を支え合っていく活動になればと考えています。そのため今年度は会員みなさんが複数の委員会に所属していただくこととなります。経験したことがある委員会はもちろん初めて所属する委員会の方も、もちろんいらっしゃることでしょうがそこはお互いが支え合って、各委員会がつながり合って、結束力の強いクラブにしていきたいと思っています。

今年から未来の夢計画がはじまりましたが、会長個人としての未来の夢計画も実はあります。

それは、75周年を前に姉妹クラブができたらいいなあと思っています。先週の夜間例会の時に酔いもまわってきた時分ですが、みんなで海外にという話などがあがりまして、そういうのもいいなあと、以前の景気の良かった時代はみんなで海外に行っていた話なども聞いたことがあります。それで以前からちょっと思っていたのが宇和島は、えひめ丸の関係からハワイのホノルルと姉妹都市にあります。そして、愛媛県はハワイ州と姉妹都市になっていますし、ワイキキロータリークラブが毎年行われている宇和島でのハワイアンフェスティバルの後援になっているのを知り、これはチャンスなのか？とってしまったのでした。英語の能力のない私にとっては夢で終わるかもしれませんが、英語能力のある人がサポートしてくれたらとも夢に思いながらの計画です。

結びに私は入会3年目にして会長という非常に責任もありとても名誉なことを体験させていただきます。そして、父も会長を経験して親子2代で会長をさせていただくという、宇和島ロータリークラブでは1つの新しい出来事でもあります、父の背中を見て育った私は、ロータリーの素晴らしさ楽しさを教わり、私も将来ロータリーに入会したいとおもってきたことでもありそして父が歩んだ同じ道を私も歩むという小さいときからの夢の1つがかないました。

夢がかなったから終わりということではなく、夢がかなったからこそ、この1年を頑張って乗り越えないといけないという思いでいっぱいです。幸い幹事に会長、幹事経験者の森本さんが優しくサポートしてくれています。非常に心強くそして感謝しています。そして、なによりもみなさまの温かい奉仕によりこの1年がよい1年になりますよう、何卒、ご協力宜しくお願い申し上げます。

2013-2014 年度 宇和島ロータリークラブ役員・理事

(役員)	会 長	渡 部 太 輔
	副 会 長	野 本 政 孝
	幹 事	森 本 真 二
	副 幹 事	杉 脇 達 也
	会 計	石 丸 正 敏
	S. A. A	萩 森 盛 一
	副 S.A.A	石 丸 正 敏
	会長エレクト	野 本 政 孝

(理事)	理 事	渡 部 太 輔
		森 本 真 二
		村 尾 明 弘
		萩 森 盛 一
		杉 脇 達 也
		石 丸 正 敏
		亀 岡 明 彦
		野 本 政 孝
		渡 辺 重 栄

2013-2014 年度 宇和島ロータリークラブ委員会構成

委員会		委員長	委員	
職業奉仕		村尾 明弘	渡辺重栄	高木常樹
社会奉仕		亀岡 明彦	萩森盛一	石丸正敏 島原 茂
国際奉仕		萩森 盛一	石丸正敏	丁井 俊
新世代活動		中村 大輔	杉脇達也	島原 茂
環境保全		島原 茂	亀岡明彦	森川直樹
ロータリー財団		杉脇 達也	村尾明弘	
米山奨学		加藤 圭哉	杉脇達也	野本政孝
クラブ奉仕	クラブ奉仕	野本 政孝	クラブ奉仕部門の各委員長	
	出席	森本 真二	今城利彦	
	親睦	中村 大輔	加藤圭哉 島原 茂 高木常樹 森川直樹	吉田公世
	情報・雑誌・広報	森川 直樹	丁井 俊	吉田公世
	会員増強・分類	石丸 正敏	今城利彦	野本政孝
	会員選考	野本 政孝	萩森盛一	
	プログラム	渡辺 重栄	萩森盛一	加藤圭哉 村尾明弘
	スマイルニュース	今城 利彦	加藤圭哉	
	姉妹クラブ特別	渡辺 重栄	萩森盛一	
S・A・A		萩森 盛一	(副S.A.A. 石丸正敏)	
宇和島RCの明日を考える		萩森 盛一		
創立75周年準備委員会		萩森 盛一	亀岡明彦	森本真二 杉脇達也

2013—2014 年度 行事予定表

月	行 事	月	行 事
7	◇ ・短期交換学生受入(7/9～7/12) ・例会休会(23日) ☆定例理事会(30日) 夜間例会(30日)	1	◇ ローターリー理解推進月間 ・新年家族会(7日) ☆定例理事会(28日)
8	◇ 会員増強及び拡大月間 ・例会休会(13日) ・IAC年次大会(8/3～8/4) 夜間例会(20日) ☆定例理事会(27日)	2	◇ 世界理解月間 ・例会休会(11日) ・愛媛第2分区IM(日) ・R創立記念日(23日) 世界理解と平和週間(2/23～2/29) 夜間例会(18日) ☆定例理事会(25日)
9	◇ 新世代のための月間 夜間例会・観月会(17日) ☆定例理事会(24日)	3	◇ 識字率向上月間 ◇ 世界ローターアクト週間 ・会長エレクト研修セミナー(日) ・夜間例会・観桜会(11日) ・地区協議会(日) ・宇和島南高定時制卒業生表彰 ・夜間例会(18日) ☆定例理事会(25日)
10	◇ 職業奉仕月間 米山月間 ・地区大会 in 高知(5日～6日) ・クラブ協議会(8日) ・例会休会(15日) ・夜間例会(22日) ・ガバナー公式訪問例会(29日) ☆定例理事会(29日)	4	◇ ローターリー雑誌月間 ・夜間例会(15日) ☆定例理事会(22日) ・例会休会(29日)
11	◇ ローターリー財団月間 ・よい子達とのみかん狩り(5日) 夜間例会(19日) ☆定例理事会(26日)	5	◇ ・例会休会(6日) ・夜間例会(20日) ☆定例理事会(27日)
12	◇ 家族月間 ・通常会員総会(理事選挙)(3日) ☆次年度理事会(1週間以内) ☆定例理事会(17日) ・例会休会(24日) ・例会休会(31日)	6	◇ ローターリー親睦活動月間 ☆定例理事会(17日) ・R.I.国際大会(日) ・最終例会(夜間24日)

クラブ概況

平成 25. 7. 1 現在
幹 事 森本 真二

1. クラブ沿革

(1) 創 立

- a. 年 月 日 1 9 4 0 年(昭和 1 5 年) 6 月 2 1 日
- b. R. I. 承認 1 9 4 0 年(昭和 1 5 年) 7 月 2 6 日
- c. 登 録 番 号 R 1 5 2 7 2
- d. 日本 R. C. 創立順位 3 7

再 承 認

- a. 再 創 立 1 9 6 5 年(昭和 4 0 年) 6 月 2 0 日
- b. 日本 R. C. 再承認順位 6 9 3
- c. R. I. 再承認 1 9 6 5 年(昭和 4 0 年) 8 月 1 2 日
- d. 認証状伝達式典 1 9 6 6 年(昭和 4 1 年) 4 月 1 0 日

(2) スポンサークラブ

松山東 R. C.

2. クラブの区域

宇和島市及び北宇和郡、南宇和郡、東宇和郡

3. 会 員 区 分

会員総数	1 8 名
正 会 員	1 6 名
名 誉 会 員	2 名
チャーターメンバー	3 3 名(うち在籍者 0 名)

4. 会員の年齢構成

平均年齢	5 2 . 1 9 歳
最 年 長	7 4 歳
最 年 少	3 2 歳

年 代 分 布

3 9 歳以下	4 0 ~ 4 9 歳	5 0 ~ 5 9 歳	6 0 ~ 6 9 歳	7 0 歳以上
2 名	1 名	6 名	5 名	1 名
1 4 %	7 %	3 9 %	3 3 %	7 %

5. 会員数・出席率推移

年 度	入 会 者 数	退 会 者 数	年度末会員数	平均出席率%	地区平均%
1965~66	33+6	5	3 4	83.03	91.54
1966~67	3	4	3 3	78.50	91.55
1967~68	4	2	3 5	87.26	92.54
1968~69	4	4	3 5	87.06	92.61
1969~70	9	7	3 7	83.74	92.38
1970~71	1 1	8	4 0	86.21	91.12
1971~72	1	3	3 8	80.29	91.87
1972~73	2	3	3 7	82.31	92.04
1973~74	5	4	3 8	86.57	92.65
1974~75	5	2	4 1	85.77	98.86
1975~76	5	3	4 3	85.31	93.21
1976~77	2	4	4 1	85.16	93.37
1977~78		3	3 8	85.08	93.87
1978~79	7	2	4 3	86.75	94.78
1979~80	4	7	4 0	87.11	94.69
1980~81	1	5	3 6	87.81	94.72
1981~82	5	6	3 5	86.86	95.12
1982~83	7	6	3 6	87.82	95.13
1983~84	2	1	3 7	90.96	95.02
1984~85	8	8	3 7	85.75	94.39
1985~86	6	1	4 2	90.99	94.41
1986~87	5	5	4 2	86.80	93.34
1987~88	5	5	4 2	87.40	93.45
1988~89	9	1 0	4 1	84.56	92.45
1989~90	4	6	3 9	84.14	91.97
1990~91	6	5	4 0	84.96	89.91
1991~92	2	4	3 8	85.33	92.25
1992~93	5	4	3 9	85.71	93.12
1993~94	9	5	4 3	86.72	90.43
1994~95	4	4	4 3	84.85	91.28
1995~96	7	4	4 6	87.57	90.17
1996~97	4	2	4 7	88.08	90.58
1997~98	4	5	4 1	85.97	88.06
1998~99	5	6	4 3	85.76	89.38
1999~2000	6	6	4 3	86.44	89.42
2000~2001	2	9	3 8	82.60	89.12
2001~2002	3	5	3 6	83.55	89.41
2002~2003	5	4	3 7	89.27	89.05
2003~2004	2	2	3 7	88.12	89.60
2004~2005	1	5	3 3	83.61	89.21
2005~2006	2	2	3 3	81. 45	84. 70
2006~2007	6	3	3 2	76. 35	86. 23
2007~2008	1	7	2 4	82. 01	87. 60
2008~2009	2	4	2 3	85. 39	86. 96
2009~2010	1	5	1 9	79. 12	86. 85
2010~2011	2	7	1 4	76. 88	86. 86
2011~2012	2	3	1 3	85. 19	85. 19

年 度	入 会 者 数	退 会 者 数	年度末会員数	平均出席率%	地区平均%
2012～2013	4	1	16	83.26	85.50
2013～2014					
2014～2015					

6. 会員在籍年数（平成 25 年 7 月 1 日現在）

33～45年未満	0名	18～19年未満	0名	9～10年未満	2名
32～33年未満	0名	17～18年未満	0名	8～9年未満	1名
31～32年未満	0名	16～17年未満	0名	7～8年未満	1名
27～30年未満	1名	15～16年未満	0名	6～7年未満	2名
25～26年未満	0名	14～15年未満	1名	5～6年未満	0名
23～24年未満	0名	13～14年未満	0名	4～5年未満	1名
21～22年未満	1名	12～13年未満	0名	3～4年未満	1名
20～21年未満	1名	11～12年未満	1名	2～3年未満	3名
19～20年未満	0名	10～11年未満	0名	1年未満	1名

7. 皆出席会員(通算)（平成 25 年 6 月 30 日現在）

25年間 渡辺 重栄	5年間 萩森 盛一	3年間 渡部 太輔
15年間 野本 政孝	5年間 加藤 圭哉	2年間 島原 茂
11年間 石丸 正敏	4年間 亀岡 明彦	1年間 今城 利彦
7年間 森本 真二	4年間 高木 常樹	
6年間 杉脇 達也	3年間 中村 大輔	

8. クラブの諸会合

例 会	と き	毎週火曜日 12:30～13:30
	と ころ	宇和島弁天町 1-318-6 宇和島きさいや広場
総 会		12月上旬開催(次年度役員・理事選挙)
理 事 会	定 例	毎月最終例会日に開催
	臨 時	必要に応じその都度召集
クラブ協議会		年4回開催予定
委 員 会		委員長が必要に応じてその都度開催

9. 姉妹クラブ

仙 台 東R. C. (D-2520)	1973年(昭和48年)	4月24日締結
カトマンズR. C. (D-3290)	1980年(昭和55年)	8月20日締結

10. スポンサーをつとめた新設クラブ

八幡浜 R. C. 1967年12月 3日創立

11. スポンサーをつとめたインターアクトクラブ

宇和島南高等学校 I. A. C. 1996年 6月 8日承認証伝達式典

12. 記念事業

(1) 創立記念

- 消防自動車ロータリー号 (宇和島消防署)
- 愛の徐行塔・交通標識塔 (栄町ロータリー)

(2) 5周年記念

- タクシー乗場オーニング (JR宇和島駅前)

(3) 10周年記念

- 野外球技場 (宇和島勤労青少年ホーム)

(4) 15周年・創立40周年・R. I 創立75周年記念

- ネパール農民塾建設協力金寄付 500,000円
- 米山奨学会寄付 100,000円

(5) 20周年記念

- 宇和島市立図書館へ寄付 500,000円

(6) 25周年記念

- 記念例会

(7) 30周年記念

- 宇和島市社会福祉協議会へロータリー号(軽自動車) 2台、
介護用ベッド5台寄贈

(8) 35周年記念

- 記念例会

(9) 40周年記念

- 「青少年作文コンクール弁論大会」
- ロータリー財団寄付金 400,000円

13. 受賞

(1) 意義ある業績賞

1980～81年度 国際親善 1982～83年度 青少年活動

(2) ロータリー財団 5,400%達成 1987～88年度

(3) マルチプルポールハリスフェロー

渡辺 重栄 2002年9月 野本 政孝 2006年4月

(4) 会員増強・拡大賞、小規模クラブ会員増加表彰 2013年10月

14. 義援金

東日本大震災(平成24年3月11日)福島原発事故も伴う大地震が発生。
仙台東RCへ義援金 50万円(平成24年6月)会長・幹事が持参する。
第2670地区へ義援金 50万円

15. 歴代会長及び幹事（再創立後）

	年 号		会 長	幹 事
初代	1965～66年	(昭和40～41年)	(故)中 浦 実	(故)酒 井 秀次郎
2代	1966～67年	(昭和41～42年)	(故)武 田 博	森 川 茂
3代	1967～68年	(昭和42～43年)	(故)奥 窪 剛之	村 重 享
4代	1968～69年	(昭和43～44年)	(故)実 藤 盛 男	(故)大 下 宏
5代	1969～70年	(昭和44～45年)	(故)藤 堂 満 義	(故)中 重 義
6代	1970～71年	(昭和45～46年)	(故)三 好 金 久	(故)山 口 喜多男
7代	1971～72年	(昭和46～47年)	(故)河 野 伝	(故)石 丸 良 久
8代	1972～73年	(昭和47～48年)	村 重 享	古 用 保
9代	1973～74年	(昭和48～49年)	(故)中 重 義	(故)稲 田 正 俊
10代	1974～75年	(昭和49～50年)	(故)酒 井 秀次郎	(故)菊 池 俊 雄
11代	1975～76年	(昭和50～51年)	(故)大 下 宏	松 浦 昭 男
12代	1976～77年	(昭和51～52年)	(故)石 丸 良 久	(故)上 田 和 男
13代	1977～78年	(昭和52～53年)	(故)稲 田 正 俊	芳 谷 謙 二
14代	1978～79年	(昭和53～54年)	(故)沢 井 進 堂	(故)上 田 永 三
15代	1979～80年	(昭和54～55年)	森 信 功	山 本 桂 助
16代	1980～81年	(昭和55～56年)	(故)有 間 重 喜	片 桐 三 樹
17代	1981～82年	(昭和56～57年)	古 用 保	山 崎 康 輔
18代	1982～83年	(昭和57～58年)	(故)山 口 喜多男	松 浦 昭 男
19代	1983～84年	(昭和58～59年)	芳 谷 謙 二	松 尾 武 彦
20代	1984～85年	(昭和59～60年)	松 浦 昭 男	酒 井 純 孝
21代	1985～86年	(昭和60～61年)	(故)上 田 永 三	(故)伊勢家 正 雄
22代	1986～87年	(昭和61～62年)	片 桐 三 樹	(故)山 内 金次郎
23代	1987～88年	(昭和62～63年)	山 本 桂 助	渡 辺 重 栄
24代	1988～89年	(昭和63～平成1年)	田 中 哲	(故)林 和 敏
25代	1989～90年	(平成1～2年)	(故)伊勢家 正 雄	正 木 啓 介
26代	1990～91年	(平成2～3年)	(故)山 内 金次郎	渡 部 正
27代	1991～92年	(平成3～4年)	渡 部 正	西 田 良 三
28代	1992～93年	(平成4～5年)	渡 辺 重 栄	中 村 在 徹
29代	1993～94年	(平成5～6年)	酒 井 純 孝	酒 井 俊 明
30代	1994～95年	(平成6～7年)	正 木 啓 介	松 浦 貫 四郎
31代	1995～96年	(平成7～8年)	(故)岡 紀 興	上 田 干 城
32代	1996～97年	(平成8～9年)	(故)林 和 敏	井 上 浩 三
33代	1997～98年	(平成9～10年)	西 田 良 三	河 野 和 重
34代	1998～99年	(平成10～11年)	中 村 在 徹	野 本 政 孝
35代	1999～2000年	(平成11～12年)	松 浦 貫 四郎 (平成12年5月迄)	伊 藤 哲 男
36代	2000～01年	(平成12～13年)	上 田 干 城	木 熊 良 生
37代	2001～02年	(平成13～14年)	酒 井 俊 明	石 丸 正 敏
38代	2002～03年	(平成14～15年)	野 本 政 孝	松 本 直 幸
39代	2003～04年	(平成15～16年)	伊 藤 哲 男	井 上 浩 三
40代	2004～05年	(平成16～17年)	井 上 浩 三	武 田 元 介
41代	2005～06年	(平成17～18年)	石 丸 正 敏	伊 藤 哲 男
42代	2006～07年	(平成18～19年)	松 本 直 幸	山 下 英 夫
43代	2007～08年	(平成19～20年)	高 木 常 樹	杉 脇 達 也
44代	2008～09年	(平成20～21年)	山 下 英 夫	亀 岡 明 彦
45代	2009～10年	(平成21～22年)	杉 脇 達 也	森 本 真 二
46代	2010～11年	(平成22～23年)	亀 岡 明 彦	萩 森 盛 一
47代	2011～12年	(平成23～24年)	森 本 真 二	村 尾 明 弘
48代	2012～13年	(平成24～25年)	萩 森 盛 一	渡 部 太 輔
49代	2013～14年	(平成25～26年)	渡 部 太 輔	森 本 真 二
50代	2014～15年	(平成26～27年)		

宇和島ロータリークラブ内規

慶弔交際費 1982.12.7 理事会承認 (1983.1.1 施行)		
項 目	現 行(円)	備 考
本人の結婚	20,000	
本人の死亡	20,000	
家族の死亡	10,000	※親子, 配偶者
夫人の出産	10,000	*1994年9月27日理事会承認(改訂) *理事会審議する場合あり
入院・長期療養	10,000	
海外クラブ公式訪問餞別	20,000	
子女の結婚	20,000	
災 害	理事会審議	
他クラブ死亡	〃	
記念行事	〃	
そ の 他	〃	

スマイル自祝科 1998.6.23 理事会承認		
項 目	現 行(円)	備 考
会員誕生日	2,000	
奥様誕生日	2,000	
結婚記念日	2,000	
創業記念日	2,000	
入会記念日	2,500	
届出欠席	1,000	1989.3.28 理事会承認(改正) 1989.5.1 施行
無断欠席	3,000	
遅刻・早退	1,000	
バッチ忘れ	1,000	

委員会活動計画方針

活 動 計 画

(2013－2014 年度)

職業奉仕委員会活動計画

委員長 村 尾 明 弘
委員 渡 辺 重 栄
委員 高 木 常 樹

活 動 方 針

職業奉仕は、ロータリークラブの原点である。
かつて無い、未曾有の東日本大震災の危機の中、職業奉仕においても、その原点を見つめ直し、企業における倫理・道徳の向上を常に目指しながら会員各自が日々の活動に邁進する必要がある。
例会においても常にその事柄を認識し社会へのより良い職業奉仕が実践出来るよう、共に活動して行くこととする。

活 動 計 画

- 1 職業道徳の向上のため、例会において『四つのテスト』の唱和し、実践する。
- 2 講師を招いて職業奉仕についての卓話等を計画し、具体的活動への指導を行う。
- 3 職業奉仕について、部内討論を実施し、意識の高揚を行う。
- 4 職場訪問を実施し、より良い職業奉仕活動の一助とする。

※ 2、3、4においては、プログラム委員会と連携を取り合い計画する。

社会奉仕委員会活動計画

委員長	亀岡明彦
委員	萩森盛一
委員	石丸正敏
委員	島原茂

活動方針

健全な青少年の育成の為の社会奉仕活動を実践する。

活動計画

- ① 8月4日(日)午前7時～「クリーン新宇和島 2013」に参加する。
各人参加し易い場所で奉仕する。
- ② 11月第一週に第27回の「よい子達とのみかん狩り」を実施する。
・内容は、例年と同様とする。

国際奉仕委員会活動計画

委員長 萩 森 盛 一
委員 石 丸 正 敏
委員 丁 井 俊

活 動 方 針

ロータリアンの国際理解、親善、平和を推進するために、交換プログラムによる海外地区間との親睦と交流を深める。

活 動 計 画

- ①本年度は、I A Cからの短期交換学生の送出しがあり、受入体制の充実に努める。
また、新世代活動委員会の活動に協力していく。
- ②毎年2月の世界理解月間では、世界理解と平和の啓蒙活動を行う。

新世代活動委員会活動計画

委員長 中 村 大 輔
委員 杉 脇 達 也
委員 島 原 茂

活 動 方 針

これからの時代を創造していく若い力を育てることは、RCにとどまらず日本や世界においても将来の最も大きな財産形成となることは言うまでもありません。地域社会の子どもたちは、最も身近な我々の宝の一つです。そのため、当クラブにおいても、新世代に対する支援は重要な活動の一つになります。その活動の中心としては、本年度も愛媛県宇和島南中等教育学校のIACに対する継続的な支援をいたします。

活 動 計 画

下記活動等に関して、各会員の協力や、国際奉仕・社会奉仕両委員会との連携を強化し、随時、適宜の方法により行っていく。

- ・短期交換プログラム
- ・IAC夏季合宿
- ・IAC年次大会
- ・良い子たちとのみかん狩りの協力
- ・次期IAC会長・幹事会
- ・IAC例会参加
- ・RC例会でのIAC活動報告

ロータリー財団委員会活動計画

委員長 杉 脇 達 也
委員 村 尾 明 弘

活 動 方 針

ロータリー財団の使命はロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです。財団の活動に対する理解を深めその活動に貢献できるように努めていきます。

活 動 計 画

①財団プログラムの理解と支援

(ポリオプラス・ロータリー平和フェローシップ 補助金 ロータリー財団学友)

②年次寄付の要請

(毎年あなたも 100 ドルを)

③地域社会の活性化の継続的支援

(未来の夢計画－地区補助金の活用)

米山奨学委員会活動計画

委員長 加藤圭哉
委員 杉脇達也
委員 野本政孝

活動方針

米山奨学会は、日本で学ぶ外国人留学生の支援、交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う心を育てるため、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として、奨学金を支給し、支援する民間最大の奨学財団である。

活動計画

- ① 米山記念奨学会の理解のための情報提供をする。
- ② 財源である寄付金を奨励し、米山功労者の増強を計る。
- ③ 10月の米山月間には、米山記念奨学会の理解の推進を計る。
- ④ 米山奨学生との交流及び国際理解の機会を設ける。

環境保全委員会活動計画

委員長 島 原 茂
委員 亀 岡 明彦
委員 森 川 直樹

活 動 方 針

地球で生存する全てのものが必要とする自然環境が、急速に変化しており環境保全は、地球的規模の問題になっています。

そのなかで、私達の「友人」「子」や「孫」にとって情緒豊かな人間性を育む「ふるさと宇和島」を胸をはって残せるように、環境保全に取り組み活動する。

活 動 計 画

- (1) 会員及び事業所において、環境保全活動を具体的に計画し、実行する。
- (2) 講師を招いて環境保全についての部外卓話等を計画し、具体的活動への指導を行う。
- (3) 環境保全の見学会を実施する。

* (2)、(3)においては、プログラム委員会と連携を取り、実施する。

クラブ奉仕委員会活動計画

委員長 野 本 政 孝
委 員 クラブ奉仕部門
の各委員長

活 動 方 針

会長、幹事を補佐し、会員増強を重点とするクラブの活性化とロータリー活動をより地域に理解される活動へと広報する事を目標とし、スムーズなクラブ運営を行うよう努力する。

活 動 計 画

- ①クラブ奉仕委員会の活動を把握し、その遂行に努力する。
- ②各委員会の委員長との連携に心掛け活動の活性化を目指す。
- ③クラブリーダーシッププランの実質的かつ効果的な導入をクラブ細則の変更も含め行う。

出 席 委 員 会 活 動 計 画

委員長 森 本 真 二
委員 今 城 利 彦

活 動 方 針

例会出席はロータリーの最も重要な基本原則の一つです。
出席することで親睦が生まれ奉仕が始まります。
100%出席を目標とします。

活 動 計 画

- ① 例会場に出席表を掲示する。
- ② 出席状況を定期的に報告し、出席を奨励し、促していく。
- ③ 皆出席を表彰し記念品を贈る。
- ④ メーク・アップを援助(同行)奨励する。
- ⑤ 地区大会 I.M.等 会合への出席を促す。

親 睦 委員会活動計画

委員	長	中	村	大	輔
委	長	加	藤	圭	哉
委	員	島	原		茂
委	員	高	木	常	樹
委	員	丁	井		俊
委	員	森	川	直	樹
委	員	吉	田	公	世

活 動 方 針

親睦はRC活動の大きな一つです。各委員とも連携しながら、例会の委員会活動を通じて、会員相互の親睦や友情を深める機会を設営していきます。また、各行事への参加を奨励していきます。

活 動 計 画

- (1) 毎月第1例会において、会員及び夫人の誕生日並びに結婚記念日、創業記念日、入会記念日を披露し、会員皆で祝う。
なお 会員誕生日についてはプレゼントを贈呈する。
- (2) 原則として、各月第3週例会において親睦会（夜間例会）を実施する。
ただし 観月会（9月）、新年家族会（1月）、観桜会（3月）については、それぞれの適する時期を選定し、実施する。
- (3) 来賓・ビジターなどの外部からの来客がある場合には、例会時、委員は青タスキをかけ接客に務める。
- (4) 部外卓話のお客様やビジターには、委員のみならず会員一丸となり、特に気を配るよう周知し、接客に努める。

情報・雑誌・広報委員会活動計画

委員長 森 川 直 樹
委員 丁 井 俊
委員 吉 田 公 世

活 動 方 針

地元報道機関との交流を深めるとともに、地域社会にロータリークラブの存在と活動を積極的に示す。

活 動 計 画

1. 地元報道機関へ情報提供し、交流と親睦を深めクラブ活動が紹介されるよう努力する。
2. 委員会報告で「ロータリーの友」の中から興味ある記事を紹介する。

会員増強・分類委員会活動計画

委員長 石丸正敏
委員 今城利彦
委員 野本政孝

活動方針

ロータリアンになっていただく人ですから職業的にも人格的にも
恥じることのない方を選考し、熱心に入会をお願いしたい。
会員全員が委員長の気持になって周りを見れば仲間になっていただく方は
多いと思います。

活動計画

ロータリアン2世の方々に、お話を聞きに行きたい。
職業分類をよく調べ未充填の職業の方を探す。
向上心があり奉仕に対する心がけ、その人自身が社会に奉仕する力をつける。
また、職業を通じ奉仕することを理解できるよう学習する。
毎月一度夜間例会を開催する事から、部外者にロータリーを体験して頂く。

会員選考委員会活動計画

委員長 野 本 政 孝
委員 萩 森 盛 一

活 動 方 針

理事会より諮問された会員推薦者についてロータリークラブへの適合性を調査し、委員会としての意見を報告する。

活 動 計 画

下記項目について公平に調査をする

- 1) 人物像
- 2) 社会的責務
- 3) 財務的評価
- 4) 諸会合への出席の可否

プログラム委員会活動計画

委員長	渡	辺	重	栄
委員	萩	森	盛	一
委員	加	藤	圭	哉
委員	村	尾	明	弘

活 動 方 針

例会が楽しく有意義なものになるよう、各委員会、各会員並びに専門分野の部外卓話者に協力を戴きプログラムを編成するように努める。

活 動 計 画

①月別担当	7月	8月	9月	萩森盛一
	10月	11月	12月	加藤圭哉
	1月	2月	3月	村尾明弘
	4月	5月	6月	渡辺重栄

*各月担当者は、1ヶ月前の定例理事会までに1ヶ月分のプログラムを作成、これを提出して承認を得る。

②部内卓話

会員に年2回程度の部内卓話をお願いする、卓話テーマは卓話者に一任する

③部外卓話

3ヶ月に1回程度の部外卓話をお願いします。
米山奨学生に卓話を依頼する。

④ロータリー活動月間には、担当委員会に卓話をお願いする。

スマイルニュース委員会活動計画

委員長 今 城 利 彦
委 員 加 藤 圭 哉

活 動 方 針

嬉しかったことや、会員の個人の記念日等に善意の寄付をすることがスマイルと定義づけられています。加えて、来賓・ビジターの方々へのご挨拶、クラブ会員卓話への応援、会員相互のコミュニケーション等々、会員の皆さんにご協力をお願いします。

活 動 計 画

1. 新入会員には、スマイルニュースに関して丁寧に説明し、理解・協力をしていただく。
2. 来賓・ビジターの方々のお名前・肩書等を会場入口にホワイトボードにて表記する。
3. 卓話される方のお名前・タイトル等を会場入口にホワイトボードにて表記する。

姉妹クラブ特別委員会活動計画

委員長 渡 辺 重 栄
委員 萩 森 誠 一

活 動 方 針

姉妹クラブを結んでいる仙台東ロータリークラブとの友好を計ることに務める。

平成 27 年 6 月 21 日の創立 75 周年記念を念頭に置き、姉妹クラブとの交流を計る。

活 動 計 画

- ① 許されれば、仙台東ロータリークラブを 1 度訪問し情報交換をする。

- ② 会報の交換をする。

S. A. A. 活動計画

委員長 萩 森 盛 一
副 S.A.A 石 丸 正 敏

活 動 方 針

クラブ例会をはじめ、ロータリアンの会合に際して気品と風紀を守り
会合が秩序正しく使命を発揮できるよう設営、監督を目指す。

活 動 計 画

1. 楽しく例会を進行。
2. 来賓、ビジターに対する心からの持て成し。
3. 例会時間の厳守。
4. 夏期（5月～9月）は、クールビズにて
但し、ロータリーバッジ及びロータリーマークの着用を厳守。

宇和島RCの明日を考える委員会活動計画

委員長 萩 森 盛 一

活 動 方 針

ロータリークラブの在り方を考え、円滑なクラブ運営を図るため
クラブ会長・幹事を補佐する。

活 動 計 画

1. 必要に応じて、細則の変更手続きを行う。
2. クラブ会長、理事会の要請に即座に対応する。
3. 未来ある中長期的なビジョンを会員に提案する。

創立 75 周年 準備委員会 活動計画

委員	長	萩	森	盛	一
委	員	亀	岡	明	彦
委	員	森	本	真	二
委	員	杉	脇	達	也

活 動 方 針

創立 75 周年記念式典の開催を成功させる準備を進める。
また、伝統ある宇和島ロータリークラブの周年行事として
恥ずかしくないものとしたい。

活 動 計 画

毎月、理事会時に準備委員会を開催する。
必要に応じて臨時準備委員会を開催する。
例会において創立 75 周年記念式典の打ち合わせを開催する。

開催日・開催場所・テーマ等を急ぎ決定する。

宇和島ロータリークラブ

事務局 〒798-0060 宇和島丸之内1丁目3-20

宇和島バスセンター2F

TEL (0895)22-2648

FAX (0895)24-1339

[E-mail : u-rc@mxi.netwave.or.jp](mailto:u-rc@mxi.netwave.or.jp)

例会場 〒798-0006 宇和島弁天町1-318-6

宇和島きさいや広場

TEL (0895)22-3934